

2013年度 前期	リフレクションペーパー
-----------	-------------

学科名	建築・デザイン学科						
科目名	物理学 I						
科目区分	専門科目	単位数	2	開講時期	1年前期		
必修・選択の別	必修科目(建築工学コース)/選択科目(建築コース)/選択科目(デザインコース)						
担当者	中野 吉正						
授業の到達目標(シラバスから)	<ul style="list-style-type: none"> ・速度と加速度の定義を正確に知り, 実生活の中で遭遇する現象と関連づけて説明する. ・重力による物体の自由落下や放物運動を数式やことばで説明する. ・単振動と単振り子についての運動方程式をたてるとともに, それらの解の特徴を知る. ・保存力とポテンシャルの関係を数式やことばで説明する. ・万有引力による天体の運動を数式やことばで説明する. ・慣性モーメントの定義を正確に知り, その物理的な意味を数式やことばで説明する. 						
日程と内容	4/ 8	導入・成績評価の方法					
	4/15	関数とグラフ(位置の時間的変化)					
	4/22	スカラーとベクトル					
	4/29	ベクトルのスカラー積					
	5/13	速度・加速度					
	5/20	力のつりあい・運動法則・等速円運動					
	5/27	単振動(ばねの運動)					
	6/ 3	仕事とエネルギー					
	6/10	力学的エネルギーの保存則					
	6/17	万有引力と惑星の運動					
	6/24	仮想仕事の原理・ベクトルのベクトル積					
	7/ 1	剛体のつりあい					
	7/ 8	重心・慣性モーメント					
	7/15	剛体の平面運動					
	7/22	総合演習					
	7/29	定期試験					
成績評価基準	定期試験	60%	実技				
	臨時試験		部外評価				
	報告書・レポート		プレゼンテーション				
	課題	40%	計			100%	
演習							
授業到達目標の達成度	保存力とポテンシャルの関係については微積分の知識が要求されるので, 結果のみの説明にとどまった. それ以外の項目については授業でおおむねカバーできた.						
反省点	教科書を使用しているが, 時間の都合でそれに沿わずに講義をした部分が多かった. その際, 復習のためにも, 講義の要点と教科書の記述との関連をより詳細に説明しておくべきだった.						
来年度の計画	基本的に今年度と同じ内容で講義を進めたい. ただし, 導入部の関数とベクトルについては, 進行に工夫を加えて効率的に理解を深めさせるようにしたい.						
授業評価アンケートに対するコメント	全般的に評価が低い. 学生に対しては講義の本題に入る前の基礎的な知識の重要性をもっと訴え, 詳しく解説するべきであった.						
履修登録者数	85名	定期試験受験者数	77名	合格者数	52名	合格率	68%